

03

因幡てる編2

鳥籠の彼女

For
Adult
Only
18



あの子が姿をくらませて3週間が経とうとしている。また職務を放り出してどこかへ遠出でもしているのか、初めは誰もがそう思っていた。

当時私はお師匠様のお遣いでしばらく里に出張していた。

用事が終わり永遠亭に戻った私は彼女が突如消えてしまったことを知る。

それは彼女が姿を消してから2週間目の頃、つまり1週間前のことだ。

急いであの子の波長を探るも、どういうわけか見つからなかった。

どこにいても個人の波長を見分けられるはずなのに。

極端に短い波長——あの子の特徴的な波が見つからない。

わずかに似た特性の波長は見つけたが、それが本人かどうか確信が持てなかった。

そうこうしている内に1週間が過ぎ、あの子の気配はますます薄くなっていった。

お師匠様や姫様は楽観していたが、私はどうにも気がかりでならない。

意を決し、私はその子の波長——とすら呼べない、気配、が僅かに残る場所へ歩を向けた。

■
そこには一軒の人家があった。

人里離れた森の中にひっそりと佇む家。

家の裏手に回り込む。軒先に魔除の結界の札が貼られていた。

遠巻きにぐるりと一周。まるでその家を囲むように、八方に札が貼ってある。

家主は妖怪に好意を持っていないのだろう。

そうでなくとも、このような物騒な場所にあつては自衛の手段として致し方ないか。

足音を立てないように細心の注意を払いながら小さな庭に踏み込む。

しばらく搜索しても人影は無かった。

——そもそも、ここに居るかどうかなど定かではないのだ。

——むしろ居ない可能性の方が高い。

——ここで時間を費やすより他を当たった方がいいのではないか？

アテが空振りに終わった徒労を感じながら、家に背を向ける。

何度も、何度も振り返りながら、私は、その家を、後にした。





足音が聞こえる
またこの時間が
やってきた

この人に捕まってから
毎日欠かすことなく
繰り返される行為

フスッ

てみちゃん
入るよ



締め

わたしは
ここから
逃げられない





ふふ
服もくわえて
すっかり
用意できてるね

今日こそ
耐えられるかな？
もし服をくわえたまま
耐えきつたらお屋敷に
帰ってもいいよ

んっ

カッ
ズッ
ズッ

ん

ん



けどだめだったら
今日もオシオキ
だからね

この人に
触れられるたび
わたしの身体は
敏感になって
いった

きっと
今日も

めちやくちやに
されちゃうんだ……

ん

ん

ん

ん

ん



こんなに
気持ち悪いのに

それなのに

どうして
わたしの身体は

こんなに
も
疼いている
のだから

あざ

あざ



首筋をなぞる
舌の感触が
気持ち悪い



耳を食むこの人の
息遣いがうるさい
ほどに聞こえる

はあ

あざ

あざ



こんなに
濡らしちゃって
我慢してると
ばればれだよ

ほら指が
欲しいんですよ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ

あざ



ガガガ

こんな
激しく
責められたら

もう全部
知り尽くされて

わたしの弱い
ところを
狙ってくる

指が入って
くる……っ



ズンズン

耐えられるわけ
ない……っ

ズンズン



グッ

ズンズン

ズンズン

ズンズン

グッ



だめだよ
逃げちゃ
約束でしょ



あーあ
離しちゃったね
これはオシオキが
必要だよ



くっ……ああ
今日もてるちゃんと
繋がれて嬉しいよ

てるちゃんも
ほんとは
嬉しいんだよね？

あつい……っ
熱した鉄の棒を
ねじ込まれてる
みたい



誰がこんな
好きでもない
男に犯されて
気持ちよくなんか

だって
こんなにも
てるちゃんの中
嬉しそうに
うねうねしてる



気持ちよく
なんて……っ

ブルブル

ザッ

ザッ



それより
いま助けを
呼べば
もしかしたら

どうして
なぜこんな
所に鈴仙が



!?



可愛いね
僕はここに
誘ってもいいよ

へえ
もしかしてあれが
鈴仙ちゃん?

イッ

ゼッ



一緒に気持ちよく
なるっか?

鈴仙ならきつと
この人をどうにか
できる

できる……けど
もしも……
もしも鈴仙まで
捕まったら

わたしの所為で
この人の餌食に
なってしまったら

ブル

ブル

ブルブル



ねーねー
どうするの
てあちゃん

早くしないと
鈴仙ちゃん
行っちゃうよ？



わたしが
我慢すれば

わたしが我慢
しさえすれば
永遠亭のみんなに
矛先が向かう
ことはないんだ



グーッ
やめて……

お願い……
鈴仙は
巻き込まないで

ガクッ
ガクッ

グッ

そっか
てみちゃんが
そう言うなら
仕方ないね

でも僕には
てみちゃんが
居てくれるから
寂しくないよ

これからも
ずっと一緒に
気持ちよく
なろうね

出すよ！
しっかり
受け止めて！

ガハハハ

ガハハハ

ゼン

なまきり

うっ

ゼン

ゼン

ゼン

ズン

ズン



……ほら
して欲しいこと
わかるよね？

はあはあ……
良かったよ



男の人の
おちん○ん
しゃぶってる……

鈴仙が近くに
いるのに……
わたし……



いいよ
後でもっと
愛してあげる

おや？
自分でアソコ
弄るなんて
てるちゃんは
淫乱だなあ

身体が疼いて
我慢できない

ごめんね
服汚しちゃったね

服……
そろそろ脱ごっか？

はい……
f m r ……

もう強がる
必要なんて
ないんだ……

ああ……
気持ちいいよ

鈴仙ちゃんにも
見せ付けて
あげたかったね

それとてみちゃんの
えっちな顔も見せて
あげたかったなあ

気持ちよすぎて
頭がおかしく
なっちゃう……

もっと気持ちよく
なりたくて腰が
勝手に動き始める

この人の突くりズムで
全身に快感が走る





もう気持ちよくなることしか考えられない

そうだてあちゃん折を見てさあのお屋敷に報告しに行こうよ

僕たち結婚しましたっさ



わたしがなくなる

その時は絶対僕たちの赤ちゃんも連れてこうね



もうそれくらい気持ちいい

ごめんねみんなまたきつと会いに行くから

きっと祝福してくれるよ

この人のお嫁さんとして

だから頑張ってるあちゃん作る？

後書

サークルしろくろうきのスギユウです。
ここまでお読み頂きありがとうございます。

今回の本でてみちゃんは一区切りとなりそうです。
あーでもてみちゃんの妊娠モノも描いてみたいと思っていたり。
いいよね……腹ぼてックス。

愛のある妊娠ではないのですが。
異種姦陵辱で出産までしている作品はポイント高い（当社比）。
苗床系のシチュもそりますなあ……グハ。
そう考えるとまだまだ描きたいものは多いんだなあ。
……完全にアブノーマル方向へ突っ走っとる！

次回は例大祭をすっ飛ばして夏コミに申し込む予定です。
エロRPG頑張って完成させないとね(^p^)

奥付

原作：上海アリス幻楽団 様
印刷：プリントネット 様

発行：しろくろうき
責任：スギユウ
発行日：2014/12/29

連絡先：yuu_819_as@hotmail.com
ブログ：<http://shirokurousa.blog.fc2.com/>
twitter：sugiyuu
pixivID：97799



TohoProjectFanbook
『鳥籠の彼女03 因幡てゐ編2』
2014/12/29 しろくろうさ